

岐阜県立恵那農業高等学校

学校長 伊藤 昭嘉

学校住所 岐阜県恵那市大井町2625番地の17 電話 0573-26-1251

- 1 会議名 恵那農業高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年11月23日(祝・水) 書面開催
- 3 開催場所 書面開催(恵那農業高校「農高祭」の委員参観を含む)
- 4 参加者 委員 大宮 康一 様 岐阜大学地域協学センター准教授
○臼田 浩通 様 岐阜県立国際園芸アカデミー教授
○岡庭 隆 様 保護司
○小椋日南恵 様 えな「たべる」プロジェクトアドバイザー
楯 博子 様 恵那市立恵那西中学校長
○西尾 浩余 様 恵那市立大井第二小学校長
○田口 綾乃 様 卒業生保護者
○森本 富江 様 在校生保護者
※ ○印は来場して学校祭を見学いただいた委員

学校側	伊藤 昭嘉 校長	丹羽 建一 教頭
	瀬瀬 和也 事務長	水野 歩 教務主任
	野々目佳世 進路指導部長	河島 隆浩 生徒指導部長
	波多野祥子 特別活動部長	野村 祐作 農場長

5 会議の概要(協議事項)

学校および生徒の活動について

- ・学校内外での生徒と学校の活動の姿について
- ・学校祭での生徒と学校の様子について

委員の意見

- ・あいさつが良かった。生徒一人一人がいきいきと活動していて、みんなが元気に挨拶してくれたことが印象に残った。
- ・「学校内外の生徒と学校の活躍の姿」の資料を見て、本当に多くのことに意欲的に取り組んでいるので素敵な学校だと思う。これからも地域と協力できる学校であってほしい。
- ・「生徒と学校の活動」の資料のうち、特に小学生を対象にした農業教室、食育教育は、人に教えることの難しさを感じることや伝えるための準備などを通じて、大きな学びや気づきの機会になる。こうした活動を通じて引き続き地域から愛され、信頼される学校づくり目指して尽力してほしい。
- ・普段から新聞記事などへの掲載を見ている。このように地域社会から認められる経験は、生徒の自信と誇りにつながるものであるのでよいと思う。

- ・当日はあいにくの天気だったが、生徒たちの生き生きとした姿を見ることができ、こちらでも楽しませてもらった。
- ・学校祭を実施されたことについて、各学科の科展などで、生徒が学習の成果を堂々と発表しており、普段の頑張りが伝わってきた。また発表することで生徒が普段の学習を振り返る場になったと思う。
- ・今回の農高祭は、来場者が制限されていたのでじっくりと学科の学習内容の展示と生徒の話聞くことができた。4つの学科を廻って、本当に広い領域の活動があり驚いている。
- ・地域への公開が制限されたが、学校と地域の宝である農高祭を体験せずに卒業してしまう学年ができなくて良かった。
- ・多くの保護者が見学していて、生徒たちの頑張る姿を見てもらえていたことが良いことだと思う。
- ・育友会のバザーはOB・OG役員のボランティアがあっけと実施出来ていた。学校のことをよく知っていてくださる心強い応援団が居ることがすばらしい。
- ・地域も農高祭を待っている。来年度は従来の活気ある農高祭が出来ることを願っている。

6 会議のまとめ

このように、書面にて委員より意見をいただいた。今回は、「生徒と学校の活動」を報告した資料と、委員によっては農高祭へ足を運んでいただいたの所感をいただいた。職員や生徒が、普段から力を入れている地域に根ざした活動とそこから得られる学びについて、委員それぞれの異なった立場、知見から肯定的な意見をいただき、今後も自信を持って学校運営の柱にしていきたいと思う。

特に、地域からの期待がとても大きいことを委員の言葉から再認識した。地域の期待に応えながら、さらに地域の方々と接点を持ってイノベーションを起こしていきたい。